

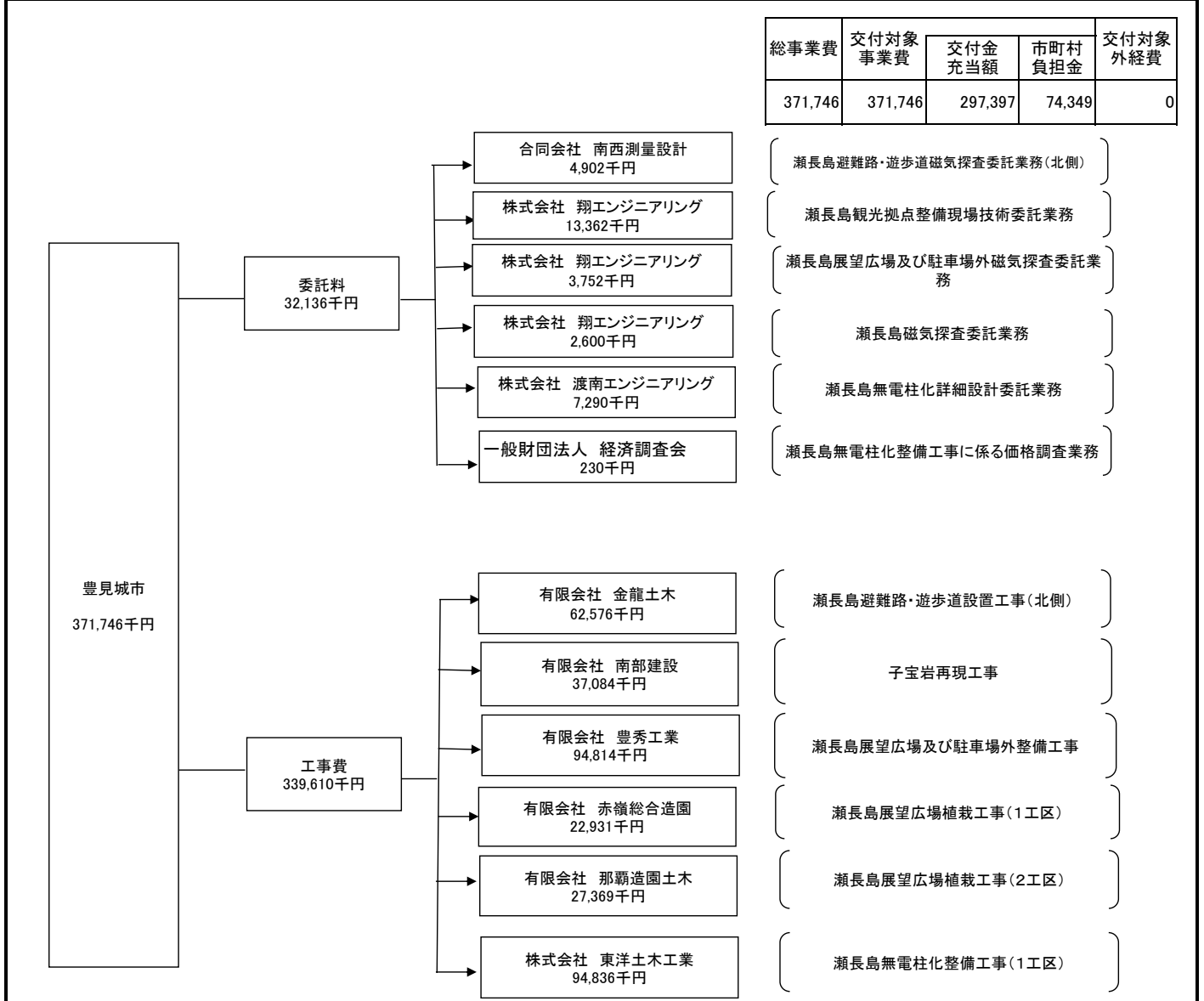
市町村名		豊見城市					
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	瀬長島観光拠点整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	都市計画部 振興開発課		事業実施(予定)年度	平成24年~28年度		観光客の受入体制の整備	
事業内容	H24年度策定の瀬長島観光拠点整備計画を踏まえ、観光拠点の整備を実現するため、必要な施設並びに設備等の整備を行い島全体の利便性の向上を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度	
	(a)当初予算額	254,568	-	379,010	-		
	(b)予算現額	312,300	-	379,010	-		
	(c)増減額(b-a)	57,732	-	0	-		
	(d)繰越額	-	230,136		205,349		
	A.計(b+d)	312,300	230,136	379,010	205,349		
	B.執行済額	82,164	223,838	172,745	199,001		
	うち交付金充当額	65,731	179,070	138,196	159,201		
	次年度繰越額	230,136	-	205,349	-		
	執行率(%) (B/A)	26.3%	97.3%	45.6%	96.9%		
予算の状況の説明	工事にかかる実施設計において関係機関との調整に不測の日数を要したため、委託料及び工事費にかかる205,349千円を平成27年度に繰越した。 不用額6,348千円については委託、工事の入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	瀬長島内の施設並びに設備等の設計、整備を実施。(無電柱化設計及び整備、現場技術委託、磁気探査、避難路設置、展望広場、駐車場、道路整備、子宝岩再現等)	目標	基本計画策定・(実施設計・用地取得)	(設計及び整備を行う)	(設計及び整備を行う)	( )	
		実績	基本計画策定・実施設計・用地取得	実施設計、磁気探査、現場技術、価格調査、配線計画、工事	設計及び整備		
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	平成26年度に実施設計、価格調査、避難路・遊歩道設置工事(北側)、子宝岩再現工事を行った。平成26年度から平成27年度にかけて無電柱化整備工事、展望広場外駐車場整備工事、磁気探査を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	瀬長島内の施設及び設備等の整備を実施	目標	( )	基本計画・(実施設計・用地取得)	設計及び整備を行う	設計及び整備を行う	( )
		実績		基本計画・実施設計・用地取得	実施設計、工事	設計及び整備	
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	展望広場及び駐車場は平成27年4月末に整備完了し、避難路・遊歩道とともに供用を開始した。子宝岩の再現工事は平成27年3月に完了し、多くの来島者から利用されている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>瀬長島は那覇空港に隣接し、自然海浜に囲まれた風光明媚な島で、観光地として良好な立地条件にあることから、観光産業の振興を図るために平成24年度に「瀬長島観光拠点整備計画」を策定し、平成26年度は避難路・遊歩道、展望広場、子宝岩再現等の整備に取り組んでいる。</p> <p>工事施工に先立ち関係機関との調整に不測の日数を要したことから平成27年度に繰越を行い事業を実施した。</p> <p>民間企業による観光関連施設の開業から、事業の早期整備に加え、利用者支障が少ない整備方法が望まれる。</p>	<p>当初計画より発注時期が遅れたことから、今後の事業実施に際しては、関係機関との調整をこれまで以上に緊密に行い、より効率的に工事進捗が進められるよう努めていく。</p>

**今後の取り組み方針**

瀬長島観光拠点整備計画に基づき、本市の観光拠点としてふさわしい整備を実現するため、必要な施設並びに設備等の整備を平成28年度までに実施し、島全体の利便性の向上を図る。(駐車場、屋外トイレ、防犯灯施設の整備等)

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



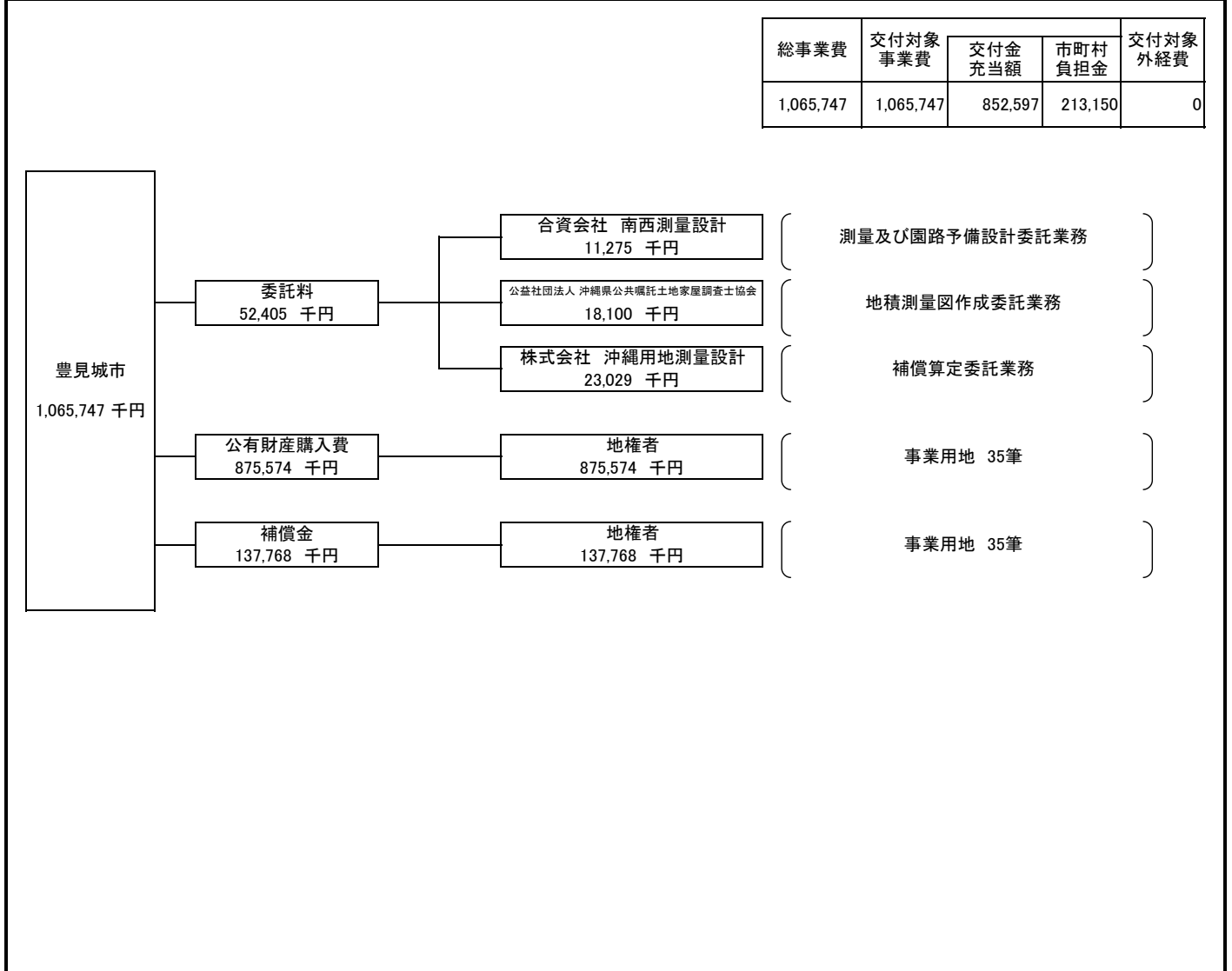
資金の流れ、費用・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は、本市指名委員会で選定した業者の中から競争入札を実施して選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業年度に見合った予算規模で適正であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途について、事業目的の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		豊見城市					
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑧	文化観光創出事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア	
担当部課名	都市計画部 振興開発課	事業実施(予定)年度	平成24年～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を活用したまちづくり Ⅲ-1-(1)	
事業内容	H25年度策定の土地利用基本計画を踏まえ、豊見城城址公園及びその周辺について、観光資源として活用するために園路等の整備に向けた調査・測量・設計を実施し、用地の一部を取得する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他（公有財産購入費、補償費）						
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	26年度(繰越)	27年度	
		(a)当初予算額	0	10,700	53,707	0	
	(b)予算現額	9,975	10,700	1,253,707	0		
	(c)増減額(b-a)	9,975	0	1,200,000	0		
	(d)繰越額	-	-	-	1,242,432		
	A.計(b+d)	9,975	10,700	1,253,707	1,242,432		
	B.執行済額	8,075	10,699	11,275	1,054,472		
	うち交付金充当額	6,459	8,559	9,020	843,577		
	次年度繰越額	0	0	1,242,432	0		
	執行率(%) (B/A)	81.0%	100.0%	0.9%	85%		
予算の状況の説明	用地取得に関する交渉において、地権者との交渉に不測の日数を要したため、平成27年度に繰越した。一部の取得予定地に関して、地権者との調整が不調に終わったため不用が生じた。また、物件補償の調査算定の結果、当初予定より物件補償費が低くなったことから不用が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・園路等の整備に向けた調査・測量・設計等の委託の実施 ・補償を含めた用地の一部取得の実施	目標	(土地利用構想の策定)	(基本計画の策定)	(園路等基本設計、用地取得の実施)	( )	
		実績	土地利用構想の策定	基本計画の策定	園路等基本設計、用地取得の実施		
		目標	( )	( )	( )	( )	
	実績						
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H25年度に策定された基本計画を踏まえ、調査測量を実施し園路等の基本設計業務を実施した。</li> <li>・事業用地取得にあたり、地積測量図作成業務及び物件補償算定業務を実施した。</li> <li>・地積測量図作成業務及び物件補償算定業務等を踏まえ、一部の事業用地を取得した。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	・園路等の基本設計等の完了	目標	( )	(基本設計等の完了)	( )	( )	( )
		実績		基本設計等の完了			
	・補償を含めた用地の一部取得の完了(取得予定面積の約37.2%)	目標	( )	(用地の一部取得)	( )	( )	( )
		実績		用地の一部取得			
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査測量を実施し、園路等の基本設計業務を完了した。</li> <li>・事業用地について、地積測量図作成業務及び物件補償算定業務を完了した。</li> <li>・一部の事業用地について取得(全体取得予定面積のうち約33.6%)した。</li> <li>・取得予定していた一部の用地に関して、地権者との調整が不調に終わった。</li> </ul>						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業用地の取得に際し、地権者との調整(土地購入の内諾、契約等)に時間を要した。</li> <li>・事業を推進する上で明らかになった課題や懸念される問題点、社会情勢や住民ニーズなど外部環境の変化について対応の必要性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業用地の取得に際しては、地権者の理解を得ながら粘り強く説明を行う必要がある。</li> <li>・外部環境の変化については、基本計画をもとに柔軟に対応を行う。例えば、当事業に係る全体的な駐車場不足を鑑み、民間誘致ゾーンを駐車場としての活用を検討する。また、城址内に計画していたガイダンス施設については、市文化課の助言により別の位置へ変更を検討する。</li> </ul>

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・取得した用地については、今後の発掘調査を含め園路及び雨水排水施設等の整備を行うと伴に適切な管理に努める。</li> <li>・残りの事業用地についても早期取得に努める。</li> <li>・当事業と一体的な整備を計画する沖縄空手道会館及び工芸の杜(仮称)とは、今後も連携を図りながら事業を推進する。</li> </ul>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 用途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は、本市指名委員会で選定した業者を指名競争入札により実施しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算は、不動産鑑定評価や用地調査等業務費積算基準などより算定していることから、予算規模は事業内容と見合っていると考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業目的の観点から、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適性であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	